





環境活動について語る池田社長

根ざした環境活動の展開やeラーニングを通じた全社員向けの環境教育により社員の環境意識を高め、社員一人ひとりが環境活動をはじめとする地域貢献活動に自発的に取り組む企業風土の醸成を図っています。

### さいたま環境賞受賞

江田：「さいたま環境賞」を受賞されたそうですが。

池田社長：2011年3月に「第12回さいたま環境賞」を受賞しました。当社では2010年6月に埼玉県と「環境における協力に関する協定」を締結し、「長瀬町宝登山での植樹活動」や「環境に配慮した研修センターの新設」など、地元埼玉に根ざしたさまざまな環境活動を展開してまいりました。こうした取り組みをご評価いただきました。今後も地元埼玉に貢献できるよう活動を展開していきたいと考えています。

### 地域とともに

江田：埼玉りそな銀行としての、環境問題への今後の取り組みについては如何でしょうか。

池田社長：埼玉県は「埼玉県環境基本計画」に基づき、「川の国さいたま」の実現を目指す川の再生やエネルギーの地産池消を進めながら地域経済の活性化も図る「埼玉エコタウンプロジェクト」など、さまざまな取り組みを進めています。「埼玉県の皆さまに信頼され、地元埼玉とともに発展する銀行」を目指しております当社といたしましても、そうした埼玉県への取り組みや地域の皆さまの環境活動を地元金融機関として金融サービスを通してご支援するなど、地域とともに環境保全に取り組み、併せて地元埼玉県経済の活性化に貢献していきたいと考えています。

## 第7回通常総会と 埼玉グリーン購入フォーラムを開催



総会で説明する村重運営委員長

6月18日(水)に新都心ビジネス交流プラザ4階にて第7回通常総会を開催しました。前年度事業報告・決算、今年度事業計画・予算等のすべての議案が承認されました。決算は収入合計1,163,900円に対し、支出合計1,021,176円となりました。今年度は「グリーン購入」の更なる拡大を目指し、広報を強く推進していくことを目標としました。

総会終了後の埼玉グリーン購入フォーラムでは、「企業のCSRはグリーン購入から！」と題し、経済産業省の新たな取り組みや、企業の先進的なCSR活動事例について学習しました。

### どんぐりポイントについて 経済産業省



どんぐり事業を説明する福田氏

企業は環境面での付加価値をアピールしたいと思っています。消費者も「同じものを買うなら環境に優しいものを」と思っていると思います。それがうまくつながっていないのが現状です。ラベルによりそれを見

える化していくのが「どんぐりポイント制度」です。製品・サービスの一生にかかるCO<sub>2</sub>排出量を計算し（カーボンフットプリント）、その排出量をさらにオフセットした場合に、“どんぐりマーク”を貼るとともに、ポイントを付けて流通させる制度です。それによって製品・サービス全体のCO<sub>2</sub>排出量を減らす取り組みです。消費者は、ポイントのついた対象商品を購入することで、環境貢献等を支援できます。

特にコミュニティやサポーターは、収集したポイントを環境配慮型商品やサービスに交換したり、寄付に活用したりすることができます。どんぐりポイント制度はベルマーク制度と似た仕組みになっています。

当省は平成24年11月から「CFPを活用したカーボン・オフセット」製品を認証し、どんぐりマークを添付する試行事業を開始しました。平成25年度は前年度を大きく上回る27事業者57製品・サービスが参加しました。（平成24年度：8事業者12製品）昨年11月から「どんぐりポイント制度」を開始し、13事業者23製品・サービスが参加しています。

## グリーンコンシューマーの拡大 株式会社デコス



(株)デコス 田所氏による事例紹介

弊社は、新聞紙をリサイクルしてつくる建築用断熱材「デコスファイバー」のメーカーで、断熱欠損を生じない乾式吹込み工法「デコスドライ工法」のフランチャイズの本部でもあります。本社は山口県下関市、工場は下関市と飯能市にあります。

新聞紙をリサイクルした木質繊維系断熱材「セルロスファイバー」は吹込み用繊維質断熱材 JIS A 9523 認証品です。新聞紙80%、ホウ酸・ホウ砂16%、撥水剤4%で出来ています。一般の壁の中には隙間がありその温度差が原因で結露が生じやすくなります。しかしデコスファイバーは綿状なので隙間なく

入れることができます。断熱工事は、素材の品質と施工業者の技術力が鍵になりますが、私たちはデコスドライ工法により品質を担保しています。断熱欠損を生じない責任施工のため壁体内無結露20年保証します。木質繊維系断熱材で、人や環境にやさしく自然の理にかなった、素材を活かした家づくりが出来ます。

デコスファイバーは日本初のカーボンフットプリント制度認定建築用断熱材です。それを武器にマーケティングを行っています。デコスファイバー一袋15kg作るのに排出されるCO<sub>2</sub>が11.9kgで、他の断熱材に比べて圧倒的に製造エネルギーが低いという特徴があります。配送はJR貨物を積極的に使っています。また、廃棄物をゼロにしています。これらを客観的に評価してくれるのがカーボンフットプリント(CFP)制度です。

CFPマークを取るということは、資格や認定をもらったのと同じと考えます。おかげで環境をキーワードに積極的なPR活動が出来るようになりました。

そして、第15回グリーン購入大賞経済産業大臣賞を受賞するなどいろいろな賞をいただき、メディアへの露出も増えて来ており、宣伝効果は大きいと満足しています。

## 空気をきれいにする夢のパッケージ カネパッケージ株式会社



カネパッケージ(株) 社長 金坂氏

弊社は、梱包事業、環境事業、不動産事業などを行っており、本社は入間市にあります。海外に10法人14拠点あります。弊社の梱包材は、小さく、軽く、省資源化を進めています。さらに緩衝能力については世界一と自負しています。梱包材は体積を半分にし、重量を56%に、CO<sub>2</sub>を40%削減、コストを30%削減しました。梱包業界ではいち早くLOHS対応のX線分析器を2006年に導入しました。2008年に工場全棟を

LED化、太陽光も導入し、2013年には電気の使用量を49%（2010年比）削減しています。

梱包材は一度使うと捨てられてしまいますので、コンパクト化、省資源化、リユース・リサイクル化等を進めCO<sub>2</sub>削減につなげます。

弊社は、梱包材1セットにつき1本のマングローブを植林することを進めています。「空気を綺麗にする夢のパッケージ」を合言葉に、製品パッケージに「+O<sub>2</sub> マングローブ植林」運動への参加をお客様に勧めています。年間1万本の植林に協賛した企業にはフィリピン政府と当社より感謝状が贈られます。お客様にとっては、+O<sub>2</sub>マークが刻印されたパッケージを選んでもいただくことがカーボンオフセットの取り組みにつながります。

マングローブ植林寄付つき自動販売機の設置、フィリピンの小学校校舎の寄贈などの社会貢献活動を行うことにより、メディアへの露出も増えて来ています。環境活動により、従業員の意識や、モチベーションが非常に高くなり、お客様からの評価が変わりました。

環境の繋がりが外部からの評価と賛同を高め、ビジネスを伸ばし、継続可能な環境配慮型成長企業に変わることが出来ました。

## 会員企業紹介

### 一般社団法人埼玉県トラック協会

埼玉県トラック協会は、昭和22年の設立以来幾多の変遷を経て、会員数二千百数十社を数える協会として、拡大、発展し現在に至っています。

トラック運送事業においては、安全運転が基本ですが、環境対策に取り組むことも大きな社会的責任として求められています。

より低公害な車の導入、環境に優しい運転、効率的な運行が挙げられます。



体験型交通安全車「サイトくん」  
(御要望に応じて出動します)

そうした中、当協会では、森林保護育成のための「トラックの森づくり」や小学生への防犯ブザーの配布、体験型交通安全車「サイトくん」の活動、「交通安全・環境フェア」の開催等社会的貢献事業にも取り組んでいます。

今後も、首都圏の物流を支え、トラック業界の健全な発展と輸送の安全の確保に向けて、努力してまいります。

### サイエンス株式会社

当社は本年創業41年目を迎えるベンチャー企業です。1) 24時間風呂『バスタイムー24』を30年前に開発・販売スタートし、世の中に200万台（協会合計）を販売しました。その後、16年前のレジオネラ菌騒動後に弱酸性電解美容泉『サイエンス・SPA』も販売開始しています。30年間で当社が販売してきたろ過機によって大きく節水ができました。

1985年より販売したろ過装置の年度ごとの出荷台数と1年間の節水量（業務用・家庭用別）と設置年数を掛け合わせた結果、約73,375,000 m<sup>3</sup>の節水ができました。



御岳湖の総貯水容量  
(75,000,000m<sup>3</sup>)



東京ドーム59杯分  
(73,160,000m<sup>3</sup>)

2) 15年前に廃熱回収型『ecoマルチ・ヒーポン』を商品開発・販売開始しました。15年間で当社がヒートポンプを販売することによって大きなCO<sub>2</sub>削減効果を得ました。

1999年より販売したヒートポンプ稼働期間を現場ごとに算出し、化石燃料と比較した際のCO<sub>2</sub>削減量を掛け合わせた結果、約60,000トンのCO<sub>2</sub>が削減できました。これは80年杉約430万本分に相当します。

#### ■ 入会案内

団体会員、サポーター（個人会員）があります。申込書はHPからもダウンロードできます。ぜひ一緒にグリーン購入を。

#### ■ 発行：埼玉グリーン購入ネットワーク

〒337-0053さいたま市見沼区大和田町2-1322-2大和田NPOプラザ内  
TEL.048-749-1217 / FAX.048-749-1218  
E-mail saitamagpn@yahoo.co.jp  
Home Page <http://www.saitamagpn.jp/>